

報告第8号

令和3年度株式会社おおや振興公社の経営状況について

令和3年度の株式会社おおや振興公社の経営状況は、別冊のとおりである。よって地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、報告する。

令和4年9月5日提出

養父市長 広瀬 栄

令和3年度

経 営 状 況 報 告

株式会社おおや振興公社

第35期 事業報告書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

1 総括

第35期はあゆ公園の営業を4月17日から開始致しました。新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置などの規制がかかり、思うような営業ができない状況が9月頃まで続きました。繁忙期の7月、8月は、7月は天候にも恵まれ、前年度比204%。8月は生憎の雨の日が続き、前年度比68%でした。天候に左右されない事業の必要性を改めて感じました。

レストラン部門に関しては、公益社団法人養父市シルバー人材センターと業務委託契約を結び、繁忙期のみ営業となりました。

人口河川部門では、特に7月、8月、9月と多くの家族連れのお客様にご来場いただき、駐車場問題等はあるものの楽しんでいただくことができました。既存の2倍の広さの屋根付き塩焼きコーナーを設置し、3密の回避と共にお客様の満足度も上がりました。

宿泊部門のペンションに関しては、素泊まりでの宿泊を販売致しました。コテージに関しては、一番高い位置にあり景色の良い6号棟の屋外に五右衛門風呂を設置、付加価値の分を値上げし、他のコテージとの差別化をはかりました。

新たな試みとして旧水族館前の親水広場をデイキャンプサイトとしてオープンしました。河原でバーベキューをすることが難しい昨今、親水広場を区画整備し、日帰りバーベキューができるスペースや炊事場を作り、販売しました。

また、地域支援事業として、若杉高原開発企業組合から委託を受けて、「とがやま温泉 天女の湯」のラーメン事業を行いました。

その結果、第35期の売上総合計は47,368千円(第34期45,092千円)で、前年度と比較して、2,276千円(前年度比105%)増加しました。

部門別の売上の対前年度比較

部門	第35期(令和3年度)	第34期(令和2年度)	税抜き(円)	
			増減	前年度比
人工河川	23,447,039	25,120,019	△1,672,980	93%
レストラン・物産	0	2,723,228	△2,723,228	—
宿泊	9,680,976	7,637,978	2,042,998	126%
その他	14,240,371	9,611,276	4,629,095	148%
総合計	47,368,386	45,092,501	2,275,885	105%

注) レストラン部門は、公益社団法人養父市シルバー人材センターに業務委託をしているため、売上はありません。

2 個別事業

(1) 人工河川

自然体験が気軽にでき、尚且つ親子で楽しめる人工河川部門は、売上 23,447 千円(前年度比 93%)、入込数 37,316 人(前年度比 86%)となりました。昨年度と比較して、売上、入込数が下がっている要因は、お盆期間中に台風の影響で雨が降ってしまい十分な営業ができなかったためです。

また、受付時のアンケート実施により、来場が初めての方が 68%、2 回目以降が 32%とほとんどの方が初来場という結果となりましたが、昨年度の 2 回目以降の来場者数は前年度比 122%となり、リピーターの方は確実に増えています。同時に「何によりあゆ公園を知りましたか?」とのアンケート結果では、ネット検索 44%、情報サイト 14%、ともだち 13%、SNS10%、キャンプ 7%、その他雑誌が 10%という結果でした。

何度も足を運んでいただける工夫が更に必要であると感じました。また、ともだちと SNS を合わせると情報サイトに勝るパーセンテージになります。口コミで広がる輪も大きくなっているため、お客様自身に広告塔になって頂けるような工夫が必要と感じました。更に私たちもお客様が必要としている情報を素早くキャッチし、より多くの情報を発信するよう努めて参ります。

新設したデイキャンプエリアに関しましては、河原でバーベキューができるよう整備し、販売しました。食器洗い石鹸などは自然に優しいものを設置し、それ以外は全て持ち込みで利用できるようにしました。新たな試みなので利用者数は 337 人と少ないですが、利用者からは好評です。

(2) レストラン

公益社団法人養父市シルバー人材センターと業務委託契約を結んでいるレストランに関しては、繁忙期のみの営業で、営業日数 41 日間、入込数 2,261 人(前年度比 70%)となりました。

(3) 宿泊 (ペンション・コテージ)

ペンションに関しては、売上 787 千円 (前年度比 168%) となりました。価格を抑えた素泊まりのみの営業をシーズン通して販売しました。

コテージについては、売上 8,893 千円 (前年度比 124%) となりました。一番高い場所に位置し、景色の良い 6 号棟の東屋横に五右衛門風呂を設置しました。今までは駐車場が一番遠く利用者の少なかった 6 号棟でしたが、宿泊基本料金を従来の 27 千円から 35 千円に値上げをしても人気があり、連休時期など特に売上を伸ばすことができました。

(4) 全体施策

- ①WEB や SNS 等であゆ公園の楽しさを発信し、来場したお客様にも SNS 等で情報の拡散をお願いし、認知度の UP に努めました。
- ②施設全体の清掃美化、アルコール消毒やできる限りの非接触の接客、衛生面の徹底を図りました。衛生的で親しみのある環境づくりに努めました。

(5) その他事業

① 自家用有償旅客運送事業

大屋地域全体での「やぶくる」の利用者は、213件、261名(昨年度282件、304名)です。

そのうち弊社では4件8名(昨年度3件3名)の方にご利用いただきました。

② 地域支援事業

令和2年12月に若杉高原開発企業組合から業務委託を受けて、「とがやま温泉 天女の湯」内で麵屋あき助のラーメン事業の運営支援を行いました。

③ 畑や田んぼを地域の方から貸して頂き、野菜やお米を栽培しました。畑で採れたピーマンなどは、川の家で提供することができました。また令和3年度に収穫したお米は、現在、川の家で提供しております。

3 設備等の投資と修繕

			税抜き(千円)	
部門	区分	内容	投資	修繕
人工河川	人工河川	塩焼き小屋建設工事	1,318	
宿泊	コテージ	トイレ補修・配管工事		145
		ボード・床張替工事		129

注) 10万円以上の投資経費と修繕費を計上。

<参考>新型コロナウイルス感染症対策にかかる助成金等

(円)

助成金名	金額
養父市宿泊経営維持臨時給付金	400,000
雇用調整助成金 3月分	262,768
雇用調整助成金 4月分	143,328
雇用調整助成金 5月分	59,720
合計	865,816

貸借対照表

(単位：円)

株式会社 おおや振興公社

令和 4年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 49,398,825】	【流動負債】	【 4,552,736】
現金及び預金	45,845,022	買掛金	430,107
売掛金	1,651,480	未払金	1,904,248
商品	105,499	未払人件費	788,281
貯蔵品	954,233	未払消費税等	1,243,900
立替金	5,872	預り金	1,200
未収入金	220,084	未払法人税等	185,000
仮払金	616,635	負債の部計	4,552,736
【固定資産】	【 5,756,691】		
(有形固定資産)	(5,485,921)		
建物附属設備	1,219,439		
構築物	1,310,442		
車両運搬具	867,772		
工具器具備品	1,895,312		
一括償却資産	192,956		
(無形固定資産)	(105,760)		
電話加入権	105,760		
(投資その他の資産)	(165,010)		
出資金	30,000		
保証金	114,000		
預託金	21,010		
		純資産の部	
		【株主資本】	【 50,602,780】
		[資本金]	[57,000,000]
		[利益剰余金]	[Δ6,397,220]
		(その他利益剰余金)	(Δ6,397,220)
		経営安定化積立	2,500,000
		繰越利益剰余金	Δ8,897,220
		(うち当期純利益)	(2,391,108)
		純資産の部計	50,602,780
資産の部計	55,155,516	負債・純資産の部計	55,155,516

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日

株式会社 おおや振興公社

至 令和 4年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	44,248,386	
受 託 収 入	3,120,000	47,368,386
【売 上 原 価】		
期首商品棚卸高	123,421	
仕 入 高	11,405,136	
合 計	11,528,557	
期末商品棚卸高	105,499	11,423,058
売 上 総 利 益		35,945,328
【販売費及び一般管理費】		34,961,817
営 業 利 益		983,511
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	1,402	
受 取 配 当 金	1,200	
雑 収 入	1,591,195	1,593,797
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	1,200	1,200
経 常 利 益		2,576,108
税引前当期純利益		2,576,108
法人税住民税事業税額		185,000
当 期 純 利 益		2,391,108

個別注記表

株式会社 おおや振興公社

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- 有価証券の評価基準及び評価方法
 - 有価証券……総平均法による原価法
- 棚卸資産の評価基準及び評価方法
 - 原材料・仕掛品・製品……最終仕入原価法による原価法
 - 商品・貯蔵品……最終仕入原価法による原価法
- 固定資産の減価償却の方法
 - 税法に規定する償却期間で償却している。
- 引当金の計上基準
 - 貸倒引当金
 - 債権の貸倒損失に備えるために、過去の貸倒実績率による繰入率によるほか、債権の内容を検討して計上している。
- 消費税の会計処理
 - 税抜方式で計上している。
- 収益及び費用の計上基準
 - 収益については実現主義により、費用については発生主義により計上している。
 - 中小企業会計に関する基本要領

2. 貸借対照表に関する注記

- 資産に係る減価償却累計額を直接控除した額 9,127,426 円
- 保証債務、手形遡求債務、重要な係争事件に係る損害賠償義務その他債務の注記
 - 受取手形割引高 0 円
 - 受取手形裏書譲渡高 0 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

- 当事業年度末日における発行済株式の数 1140株
- 当事業年度末日における自己株式の数 0株
- 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項
 - 剰余金の配当のうち、剰余金の配当を受ける者を定めるための法第124条第1項に規定する基準日が当事業年度中のものを含む。)第34期事業年度の定時株主総会
- 配当に関する事項
 - 配当財産が金銭の場合
 - 金銭配当の株式の種類別内訳
 - 配当金の総額
 - 1株当たり配当額 0円
 - 基準日 令和 3年 3月31日

4. 1株当たり情報に関する注記

- 純資産額 44,388円40銭
- 当期純利益 2,097円46銭